



◇県本部 2016年春闘討論集会
日時 1月14日(木) 14時～
◇県本部 2016年新春のつどい
日時 1月14日(木) 17時30分～
※会場はフェリヴェール・サンシャイン

自治労茨城

水戸市桜川 2-3-30 自治労茨城県本部
Eメールアドレス kenhonbu@j-ibaraki.jp
編集発行人 = 黒江正臣
毎月5日の発行
定価 = 1部5円(組合費を含む)
印刷所 = 凸紋字

違憲の戦争法は廃止を

いばらき総がかり行動に 600人



戦争法の廃止を求め水戸市内をデモ行進



自治労春闘討論集会で講演する寺島実郎氏

4%の賃上げを
自治労が春闘討論集会

自治労は12月10、11日、東京・有明で春闘討論集会を開催し、2016春闘方針を提起しました。
会議では、給与の総合的見直しの減額分を回復する2%と連合の掲げる「底上げ・底支え」1%の2%を加えた4%の賃上げ要求、非正

自治労は12月10、11日、東京・有明で春闘討論集会を開催し、2016春闘方針を提起しました。
討論集会の後段では、経済評論家の寺島実郎氏が講演。寺島氏は世界と時代を巨視的に俯瞰し、それらの経済動向・トレンド等を独自の情報源を加えて解説しました。



第2次賃金確定闘争を議論した第2回拡大闘争委員会

第2回拡大闘争委員会

2015賃金確定闘争が越年するという異例の状況の中で、県本部は12月18日、自治労会館で第2回拡大闘争委員会を開き、賃金確定闘争のさら

賃金確定闘争を強化しよう
3月議会までに決着を

12月18日、自治労会館で第2回拡大闘争委員会を開き、賃金確定闘争のさらなる強化に向け意思統一を行いました。
黒江委員長は「越年をふまえて、今後、官民格差をどう与与引き上げに反映させるかが賃金確定闘争の課題である。4%賃上げ要求を

統一行動などの補強方針が提案されました。「補強方針では、「勧告された官民格差については、今年度中に確実に解消すること。労使で合意した賃金・労働条件の改定にあたり、必要となる条例等の改正について可及的速やかに行うこと」と「人事評価制度・等級別基準職務表の条例化への対応」などの取り組みを柱に、2、3月議会への

女性の活躍が地域を変える
男女がともに担う自治労茨城推進委講演会

「男女がともに担う自治労茨城推進委員会」は、12月5日、自治労会館で「災害・ジェンダー」をテーマにした講演会を開きました。講師の原口弥生茨城

大学人文学部教授は、東日本大震災や原発事故で茨城県内避難者の暮らしや交流のサポートをする「ふうあいねっと」の代表も務めており、災害におけるジェンダー問題や原発事故による分散避難問題、低認知被災地である茨城の放射能汚染に



2015.12.08 県自治体退職者の会総会

郡司彰の国会レポート156

新しい息吹を運動に

結局、安倍内閣は憲法の定めにある臨時国会を開きませんでした。
年明け通常国会は、4月に召集され、6月1日までの会期となり、TPPでは政府が対応策を発表しましたが、具體策は28年秋以降になるかと見えています。つまり、参院での争点隠しだけで

なく、選挙の結果を出せと脅している様です。
民主党も、経済連携調査と運動面で連携、私的対策本部を設置し、私が本部長となり16日には岡田代表も来県し、養豚の視察をしました。
夏の参院選から、選挙年齢が18歳に引き下げられます。70年振りです。
国は新たに主権者教育を行う事とし、各高校に教材を配布しています。

一方で、現在の20代30代の若者の投票率は、前回総選挙で約35%程度。60、70代の約半分の率でこちらの対策も必要です。
8日には県自治体退職者の会、時崎雄司委員長に招かれました。
先の大戦を経験した方や、戦後の民主的な社会を目指した人達です。
若者は、この国の景気が良く、右肩上がりの経済を知らずに育ちました。
新も政変も労働運動も、新しい視点が求められています。



団結ガンパローで総会を締めくくった公共民間労組協議会総会

各単組新役員

- 執行委員長 桐生芳江
副委員長 桑波田真理子
書記長 吉田悦子
洲崎まつ江

現業評議会第51回定期総会



現業評議会であいさつする稲葉議長

県本部現業評議会の第51回定期総会が12月12日、単組69人が参加し

藤田—杉本体制選出
現業評議会が定期総会

総会では、2016活動方針と規則の一部改正などを承認するとともに、藤田議長(大子)、杉本事務局長(取手)を軸とした。
総会終了後は、学校給食部門の活動を強化しようとする新たな職の確立をめざすとして、経験と知識を共有する試みが行われました。

まずは要求書提出、交渉を
公共民間労組協議会が総会

県本部公共民間労組協議会は12月7日、自治労会館で第12回定期総会を開き9単組29人が参加、2016年度運動方針、役員体制などを決定しました。
総会は田中議長があいさつし「公共職場で働く私たちを取り巻く環境

現業評議会役員体制

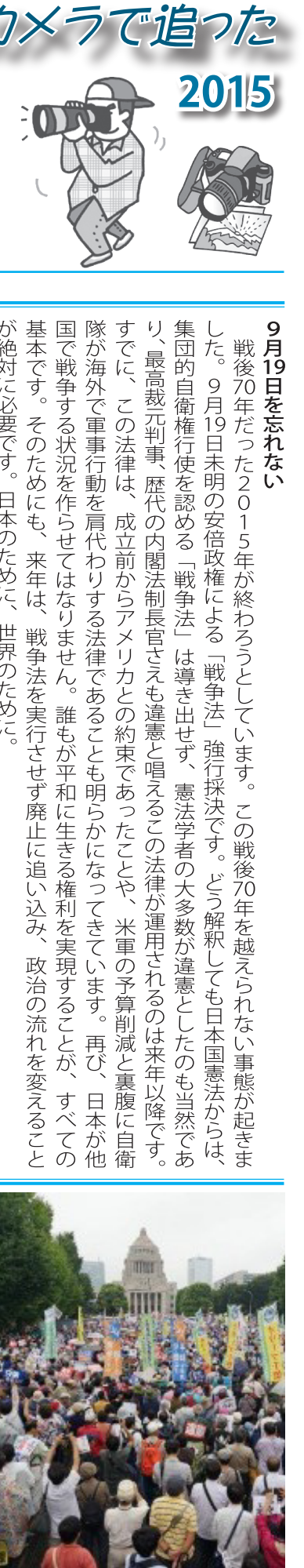
- 議長 藤田 浩二(大子町職)
副議長 山本三千代(東海村職)
副議長 石神 信浩(龍ヶ崎市職)
副議長 稲葉 勉(北茨城市職)
事務局長 杉本 道博(取手市職)
事務局次長 相澤 輝子(東海村職)
幹事 篠崎 勇一(北茨城市職)
菊池 智子(日立市職)
大場 孝史(常陸太田市職)
倉橋扶美子(常陸大宮市職)
岩上真由美(那珂市職)
飛田 将洋(水戸市職)
越川みどり(鉾田市職)
齋藤 洋子(行方市職)
篠崎 佳子(取手市職)
笹沼美智子(鹿嶋市職)
関口 朋和(龍ヶ崎市職)
日向寺裕也(県 職)

公共民間労組協議会 役員体制

- 議長 田中 祐治(茨城県保労組)
副議長 根本 博行(北茨城社協労組)
吉成 亘弘(東海村関連労組)
事務局長 野村 和弘(県本部組織部長)
幹事 舟生 圭(北茨城社協労組)
大内 智弘(東海村関連労組)
山縣 英一(日立市社福労組)
友部 陽介(日立メディカル労組)
川角 元(水戸市社協労組)
小林ひとみ(茨城県社協労組)
木村 友香(清水福祉会労組)
磯山 裕之(行方市職公共企業関連団体)
鈴木 一男(茨城コロニー労組)
山中圭一郎(石産労組)
井坂 良弘(茨城県保労組)

NO WAR 戦争法は廃止を!
憲法9条を壊すな! 安倍内閣は退陣を!
総がかり行動実行委員会
http://vagokasi.com/

ZENROSAI NEWS 51132200
自然災害共済
住まいと家財の安心のため
降雪・降ひょうによる損害なども
自然災害共済の守備範囲!
大型タイプと標準タイプがあります。
火災共済に付帯してご利用ください。



# カメラで追った 2015

9月19日を忘れない  
戦後70年だった2015年が終わろうとしています。この戦後70年を越えられない事態が起きました。9月19日未明の安倍政権による「戦争法」強行採決です。どう解釈しても日本国憲法からは、集団的自衛権行使を認める「戦争法」は導き出せず、憲法学者の大多数が違憲としたのも当然であり、最高裁判事歴代の内閣法制局長官さえも違憲と唱えるこの法律が運用されるのは来年以降です。すでに、この法律は、成立前からアメリカとの約束であったことや、米軍の予算削減と裏腹に自衛隊が海外で軍事行動を肩代わりする法律であることも明らかになってきています。再び、日本が他国で戦争する状況を作らねばなりません。誰もが平和に生きる権利を実現することが、すべての基本です。そのためには、来年は、戦争法を廃止させず停止に追い込み、政治の流れを変えることが絶対に必要です。日本のために、世界ののために。

## 2015年国内十大ニュース

◆ 相次ぐ中学生の死  
神奈川県と大阪で中1殺害事件、岩手・宮城・愛知県では中学生いじめ自殺。未来ある子たちの命救えないのは大人の責任。(1月)

◆ 沖縄と国が対決  
新基地建設に向け肅々とかつ強引に辺野古を埋め立てる安倍政権。知事も県民も立ち上がり、島ぐるみで国と全面対決へ。(1月)

◆ 企業の不正次々と  
東芝不正会計、東洋ゴム免震偽装、旭化成建材杭打ちデータ偽装など続く企業不正。えり正して取り戻したい、働く誇り。(1月)

◆ 「大阪都構想」一否決  
橋下大阪市長と大阪維新の会が進める「都構想」、住民投票で否決。政党枠を超えて暮らしと自治を守る「共同の力」が勝利。(5月)

◆ 活発化する火山活動  
鹿児島・口永良部島の噴火で全島避難(5月)。蔵王、箱根、桜島、阿蘇も警戒レベル引き上げで火山列島日本を再認識

◆ 新国立競技場ドタバタ  
総工費大膨張に国民批判高まりついに計画白紙撤回に(7月)。エンブレム問題も浮上し、東京五輪・パラリンピックの行方やいかに

◆ 125万件情報流出  
日本年金機構へのサイバー攻撃で個人情報125万件流出(6月)。マイナンバー開始でさらに不安高まる個人情報漏えい(10月)

◆ 大雨で河川決壊  
関東・東北の記録的豪雨で、鬼怒川など各地の河川が決壊し泥の海に。経験ない大雨に油断大敵(9月)

◆ 自公が戦争法強行  
憲法を破壊し、日本を「海外で戦争する国」に変える戦争法強行成立。全国に沸き起こる戦争反対、安倍政治許さないの声(9月)

◆ 生涯ハケンの改正派遣法  
「正社員化に道」と言いつつ、派遣労働者の大多数が反対する改正派遣法はいつい誰のため?(9月)

◆ テロ許さずと370万人  
ムハンマド風刺のフランス紙がイスラム過激派に襲撃され12人死亡。犠牲者追悼反テロ行進に各国首脳ら370万人(1月)

◆ ネパールで大地震  
M7.8の大地震で死者5000人以上。建物崩壊、地すべり、エベレスト雪崩の惨状に世界が救援(4月)

◆ 59年ぶりの国交回復  
米キューバ両首脳が59年の時超え会談。対立から国交回復へ、広がる笑顔とラテンのリズム(4月)

◆ 緊迫する南シナ海  
中国が南沙諸島を埋め立てて人工島や滑走路。6カ国がせめぎ合う緊迫の海に米海軍艦船進入し争い激化の懸念(10月)

◆ 汚職まみれのFIFA  
国際サッカー連盟(FIFA)幹部14人がW杯招致や放映権めぐり巨額収賄で起訴され、ファン落胆。会長にも捜査の手(5月)

◆ 中国経済に高まる不安  
株価急落、成長率鈍化、元連続切り下げに中国パブル崩壊の声。世界への影響必至、日本が恩恵を受ける「爆買い」にも暗雲?(7月)

◆ 欧州に難民殺到  
4年にわたるシリアの武力紛争が激化し、欧州にシリアなどから難民が殺到し、各地で混乱。EU各国が分担受け入れ合意するも、流入増大に対応追いつかず(9月)

◆ TPP合意に批判的嵐  
環太平洋経済連携協定(TPP)で関係12カ国が大筋合意。多国籍企業利益優先、主権侵害に批判高まる(10月)

◆ スーチーさんの野党勝利  
ミャンマー総選挙でアウンサンスーチーさん率いる国民民主連盟(NLD)が勝利。半世紀もの軍政に耐えた人々の笑顔輝く(11月)

◆ パリ同時多発テロ事件  
フランス・パリでイスラム国とみられる複数の戦闘員による銃撃や爆発により市民130人が死亡、負傷者は352人に上る(11月)